

下水道使用料の統一と新料金の設定について(答申)

西東京市下水道審議会(花輪宗命会長)は、平成13年8月2日に西東京市長から「旧田無市と旧保谷市の下水道使用料の統一と新料金の設定について」の諮問を受け、審議の結果、2月10日に答申書を提出しました。その要旨をお知らせします。

- 1 旧田無市と旧保谷市の下水道の統一料金について
旧田無市と旧保谷市の下水道使用料は、旧田無市の下水道使用料をもって統一料金とするのが適当である。
2 西東京市下水道の新料金の設定について
西東京市下水道使用料は、当面、前記統一料金を新料金とし、平成15年度までできるだけ早い時期に実施すべきである。
3 今後の課題について
西東京市としては、今後、この答申に従って料金の統一を早急に実施したうえで、

今回の新料金を改定する必要があるか否かについて、社会情勢の変化及び下水道事業のあり方を十分検討して判断されたい。
以上の答申について、どのような経過からこのような答申に至ったかについて、付記されています。答申の全文は、情報公開コーナー(田無庁舎3階、保谷庁舎1階)、西東京市ホームページでご覧になれます。

審議会委員(順不同、敬称略)
高木保男、山田啓一、花輪宗命(会長)、川嶋典恭、桑澤淳二、一方井寿子、坂本美津子、森田修、門政春、森脇保典

市政発展にご尽力いただきました

市の行政、地域医療、人命救助、寄附および産業・技能等、市政全般にご協力をいただいた方々に感謝の意を表する表彰式が2月19日に開催されました。表彰および感謝状を受けられた方々は、功労表彰12人、一般表彰18人・5団体、技能功労表彰15人、感謝状5人・5団体です(左表、順不同、敬称略)。

功労表彰
氏名
小島恵子
田井文直
岡部長敬
金子瀧雄
鈴木一成
高田清
保谷源三郎
都筑源藏
中村真
下田雅一
本橋正明
内田實

一般表彰
氏名
田鍋庸子 曾根陽子
賀来仁智 大原すみ子
櫻井幸男 馬場御代子
大河原一紀 本橋ノブ
羽藤邦利 櫻井清子
貫井夏生 中野鈴子
長谷川次宏 保谷朗読ボランティアの会
野口悦子
石川三郎 どんぐり会
保谷仁 山茶花の会
里見勝枝 田無手話サークル
曾根教之 手話の会「めだか」

技能功労表彰
氏名
武田丕 都筑昭 鈴木義行
井川享 下田善太郎 小坂武男
関上光正 濱野守 藤原了
岩田丑三 漆原真一 鳥塚竹治
岡村浅二 角谷稔 木下睦人

感謝状贈呈
氏名・団体名
穴山セツ (株)富士富建設匠会
小嶋嘉則 西東京市保谷障害児の修学前教育をすすめる会
笠原繁男 東京トヨペット(株)
宮良のぞみ 東京西東京ライオンズクラブ
橋フジ子 (財)児童健全育成推進財団



環境基本計画 「市民ワークショップ」を開催します

Table with 2 columns: グループ (A, B, C, D) and テーマ (4つの基本方針と主な取り組みの内容).
A: 良好な生活環境を確保して、健康で心豊かに生きる(環境汚染の防止、道路・交通環境、都市景観・都市環境の保全)
B: 都市の緑をみんなで支え、自然と共存していきる(緑の保全育成、歴史的・文化的環境資源の確保、水環境、水辺環境の保全、生物多様性の確保)
C: 生活と産業のあり方を見直し、環境への負荷の小さい地域循環型社会を実現する(地球温暖化対策、ヒートアイランド対策、ごみ減量・リサイクルの推進、省エネルギー・クリーンエネルギーの推進)
D: みんなの知恵と努力と参加によって良好な環境を確保して、これを将来の世代に引き継ぐ(環境情報の交流、パートナーシップの推進、環境学習の推進、環境保全に向けた取り組みの推進)

「西東京市環境基本計画」は、西東京市環境基本条例に基づき、市、事業者、市民の環境保全に向けた具体的な取り組みの方向や環境配慮等を示す計画です。この計画の策定に向けて、現在、「環境審議会」では、市長からの諮問を受け、さまざまな側面から検討を行っています。

このたび、検討の中間のまとめとして「環境基本計画答申素案骨子」を作成しました。「環境審議会」では、最終的な計画策定に向けて、この「答申素案骨子」を基に、広く市民の皆さんの意見や考え、アイデア等をお聞かせいただくため、次のとおり市民ワークショップを開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしています!

とき 4月19日(土)午後1時30分~午後5時
ところ 保谷庁舎防災センター6階講座室
対象・定員 市内在住・在勤・在学の16歳以上の方・30人
申込 4月7日(月)までに、はがき、電話またはファクスで、住所・氏名・年齢・連絡先・希望テーマをご連絡ください。(申込多数の場合は抽選。11日までに結果を通知)定員に余裕があれば当日参加もできますので、お問い合わせください。

中学生の税についての作文

全国納税貯蓄組合連合会が主催する平成14年度中学生の「税についての作文」に、市内各中学校から483編の応募がありました。審査の結果10人の方が入選し、昨年12月に表彰を受けました。入選作品は次のとおりです(順不同、敬称略)。

- 西東京市租税教育推進協議会会長賞: 森田千晶(田無第一中・3年、税を生かすために)
多摩武蔵納税貯蓄組合連合会会長賞: 越阪部亨(田無第一中・3年、税から考える自分)
多摩武蔵納税貯蓄組合連合会佳作: 岡部秋絵(田無第一中・3年、家族と社会と税)、中山卓哉(田無第一中・3年、税金の行方)、新井清史(田無第一中・3年、税の考え方)、遠藤利和(青風中・3年、身近な税金)、下平智征(青風中・3年、税が存在しなければ今の僕たちは...)、藤 菜絵(青風中・3年、私たちと税金)、佐藤祐理(武蔵野女子学院1年、私たちのそばにある税金)、木本侑希(武蔵野女子学院1年、税について)
納税課(☎内線1351)

「税を生かすために」

田無第一中学校3年 森田千晶



私にとって税とは消費税という身近で小さな敵でした。しかし一方で国民を守り、国を支える大きな大黒柱と言えると思います。
しかし、私達の中で税とはあまり響きの良いものではありません。なぜなら税はお金という姿で私達の手から去って行き、さまざまな姿に変わります。手元に戻ってくるからです。私達はそのありがたさになかなか気付けないのです。

私達のまわりには税が色々な姿に変わって活躍しています。公共事業や医療費、教科書、そして教育費。そんな税も時には私達に問題を問いかけ、考え、話し合うことの大切さを教えてくれるのです。おとし祖母は引越しました。新しい道路を作るために引越してほしいと県から言われたそうです。年をとってからまわりの環境を変えることはとても大きな負担になる、と母が言っていました。

昔から母に「世界には今日の食べ物に困っていない子供がたいていいるよ。」と言われてきました。たしかに世界には文字が読めない子や、書けない子が三億人以上いると言われていました。昔はかわいそうだな、つらいだろうなと思っていました。でも今は自分がどれだけ恵まれ、国、そして税によって教育を受ける権利が守られているということがわかった気がします。
私達のまわりには税が色々な姿に変わって活躍しています。公共事業や医療費、教科書、そして教育費。そんな税も時には私達に問題を問いかけ、考え、話し合うことの大切さを教えてくれるのです。おとし祖母は引越しました。新しい道路を作るために引越してほしいと県から言われたそうです。年をとってからまわりの環境を変えることはとても大きな負担になる、と母が言っていました。